

宮地和紙の新商品開発

八代市 崇城大生ら中間報告

宮地和紙を使った新商品案を発表
した中間報告会 八代市



八代市宮地地区の紙の伝統を守ろう
すきの伝統を守ろう
と、宮地和紙を使った
新商品開発の中間報告
会が5日、宮地公民館
で地域住民ら約30人が
参加してあった。

熊本高専八代キャン
パスの教員らでつくる
宮地和紙の研究会と
市が、生活利用できる
デザイン商品開発を崇
城大学芸術学部によ
頼。学生4人が11月
から開発に取り組ん
でいた。

「きょうの意見を取り
入れて製品の質を高め
たい」と話した。

(三室久徳)

学生らは和紙の手触
りや透光性を生かし、
正装用の札入れや、照
明の光を柔らかくする
ために電球などに被せ
るライトカバーなどを
発表。住民からは「妙
見祭のお土産物にして
はどうか」「他の和紙
との違いをどうPRす

との違いをどうPRす